

質問

保育料の無償化を早急に

町長

来年1月分から実施する



糸原 文昭 議員



保育料が無償化となる赤ちゃん

質問 子育ての負担を軽減するために、保育料の無償化は、早急に行う必要があるが、どうお考えか。

町長 子育て世代の負担軽減は、喫緊の課題である。全世帯の保育料無償化は、来年1月分から実施に向け準備を進める。

質問 奥出雲病院での分娩や里帰り出産ができないことは、妊産婦の負担となる。産前・産後サポート事業の上に、手厚い支援が必要では。

町長 県内では夫婦参加の離乳食体験などを開催している。今後参考にしながら、助産師の確保も検討

し、支援・相談体制の充実を図っていく。

質問 松江市は5月から、産後間もない母親の夜間の負担と不安解消のため、母親と乳児を受け入れた宿泊型の産後ケアを開始した。本町で

も可能ではないか。

町長 奥出雲病院とサービステキ体制など協議を行い、来年度実施に向け検討する。

質問 本町は保育士確保奨励金があるが、一回きりの支援だけ

でなく、給料の上乗せや家賃の補助などの長期の支援ができないか。

町長 国の制度を活用し、保育士等の処遇改善を行っている。委託先の実態把握を行っていく。

移住対策について

質問 移住で人口を増やすのであれば、移住者の仕事や経済面の不安を解消すべきだと思うが。

町長 奥出雲町の豊かな自然環境や人とのつながり、子育てのバックアップ体制など、暮らしやすさといった点を改善し、移住促進につなげていく。

質問 奥出雲定住支援サイト「Deep To

「W Okuzuno」で町の暮らし、住まい、仕事、子育て、お試し奥出雲などが紹介されているが、今後奥出雲の魅力をどう発信していくのか。

町長 メディアや情報誌を活用したり、テレビ等の取材などで奥出雲のアピールに取り組んでいく。



奥出雲町に移住したい